

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	2019年8月13日
【四半期会計期間】	第61期第3四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
【会社名】	コーアツ工業株式会社
【英訳名】	KOATSU KOGYO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 吉田 三郎
【本店の所在の場所】	鹿児島市伊敷五丁目17番5号
【電話番号】	(099)229-8181（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 西 成人
【最寄りの連絡場所】	鹿児島市伊敷五丁目17番5号
【電話番号】	(099)229-8181（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 西 成人
【縦覧に供する場所】	コーアツ工業株式会社 東京支店 （東京都港区浜松町一丁目12番5号 アルファ・エイチビル4F） コーアツ工業株式会社 大阪支店 （大阪市淀川区西中島五丁目11番10号 第3中島ビル2F） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番2号）

（注） 上記のコーアツ工業株式会社大阪支店は、金融商品取引法に規定する縦覧場所ではありませんが、会社が投資者の便宜を図るため任意に縦覧に供する場所として定めたものであります。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第60期 第3四半期連結 累計期間	第61期 第3四半期連結 累計期間	第60期
会計期間	自2017年 10月1日 至2018年 6月30日	自2018年 10月1日 至2019年 6月30日	自2017年 10月1日 至2018年 9月30日
売上高 (千円)	6,965,896	8,329,684	9,687,634
経常利益 (千円)	380,411	467,317	418,861
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	289,351	366,299	244,868
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	275,576	330,374	239,598
純資産額 (千円)	6,519,326	6,768,082	6,483,349
総資産額 (千円)	11,446,786	13,036,603	11,381,979
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	381.57	483.11	322.91
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	57.0	51.9	57.0

回次	第60期 第3四半期連結 会計期間	第61期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自2018年 4月1日 至2018年 6月30日	自2019年 4月1日 至2019年 6月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	147.76	276.85

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績や雇用・所得環境に改善がみられるものの、個人消費は将来不安から伸び悩みが見受けられます。また米中間の貿易摩擦の長期化や中国・欧州経済の低迷など、依然として先行き不透明な状況であります。

建設業界におきましては、各種災害復興関連事業や既存インフラの補修・補強関連事業等は堅調に推移しているものの、引き続き受注物件の獲得競争や業界の慢性的な人手不足、労務費・資材購入費の高騰等も影響し、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社グループ(当社及び連結子会社、以下同じ。)は当期経営基本方針として「挙社一致、整備した労働環境の上に、未来を見据えた受注と、高品質の製造・施工を築き、併せて、高収益構造を構築する。」を掲げ、鋭意努力してまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、83億29百万円と前年同四半期に比し13億63百万円(19.6%増)増収となりました。売上高の増加に伴い、経常利益は4億67百万円と前年同四半期に比し86百万円(22.8%増)増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は3億66百万円と前年同四半期に比し76百万円(26.6%増)増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

a. 建設事業

当第3四半期連結累計期間における建設事業の完成工事高は、70億86百万円(前年同四半期比28.2%増)となりました。工事原価の増加により、営業利益は6億6百万円(前年同四半期比4.2%減)となりました。

b. コンクリート製品事業

当第3四半期連結累計期間におけるコンクリート製品事業の売上高は、10億59百万円(前年同四半期比14.4%減)となりました。セグメント間の内部売上高又は振替高の上昇により、営業利益は30百万円(前年同四半期は営業損失10百万円)となりました。

c. 不動産事業

当第3四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は、1億9百万円(前年同四半期比25.1%増)となりました。売上高の増加により、営業利益は53百万円(前年同四半期比47.8%増)となりました。

d. 売電事業

当第3四半期連結累計期間における売電事業の売上高は、73百万円(前年同四半期比5.3%減)となりました。売上原価の減少により、営業利益は26百万円(前年同四半期比1.3%増)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は130億36百万円で、前連結会計年度末に比し16億54百万円増加しました。主な要因は受取手形・完成工事未収入金等が12億82百万円増加したことによるものであります。

負債は62億68百万円で、前連結会計年度末に比し13億69百万円増加しました。主な要因は支払手形・工事未払金等が12億31百万円増加したことによるものであります。

純資産は67億68百万円で、前連結会計年度末に比し2億84百万円増加しました。主な要因は利益剰余金が3億20百万円増加したことによるものであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,040,000
計	3,040,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	760,000	760,000	東京証券取引所 (市場第二部) 福岡証券取引所	単元株式数 100株
計	760,000	760,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日	-	760,000	-	1,319,000	-	1,278,500

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 757,200	7,572	-
単元未満株式	普通株式 1,100	-	-
発行済株式総数	760,000	-	-
総株主の議決権	-	7,572	-

(注)1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。

2. 「単元未満株式」の欄には、当社保有の自己株式98株が含まれております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
コーアツ工業株式会社	鹿児島市伊敷5丁目17-5	1,700	-	1,700	0.22
計	-	1,700	-	1,700	0.22

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成し、「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）に準じて記載しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2018年10月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	587,849	579,408
受取手形・完成工事未収入金等	2,702,479	3,985,325
販売用不動産	89,206	87,816
未成工事支出金	72,427	287,435
商品及び製品	120,412	94,366
仕掛品	5,815	4,789
材料貯蔵品	34,407	44,635
その他	177,048	289,139
流動資産合計	3,789,646	5,372,919
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,270,772	1,278,812
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	675,772	855,652
土地	3,975,056	3,977,625
リース資産(純額)	220,100	204,207
建設仮勘定	18,700	5,713
有形固定資産合計	6,160,401	6,322,011
無形固定資産	25,792	27,366
投資その他の資産		
投資有価証券	1,039,772	990,564
その他	628,845	586,220
貸倒引当金	262,478	262,478
投資その他の資産合計	1,406,139	1,314,306
固定資産合計	7,592,333	7,663,684
資産合計	11,381,979	13,036,603

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,645,219	3,876,682
短期借入金	1,000	-
1年内返済予定の長期借入金	181,320	210,408
未払法人税等	48,227	65,184
未成工事受入金	419,796	414,267
完成工事補償引当金	7,600	500
工事損失引当金	8,500	8,400
賞与引当金	150,340	148,072
災害損失引当金	855	-
その他	332,846	427,370
流動負債合計	3,795,705	5,150,884
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	570,480	672,434
その他	332,444	245,202
固定負債合計	1,102,924	1,117,636
負債合計	4,898,630	6,268,521
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,319,000	1,319,000
資本剰余金	1,278,500	1,278,500
利益剰余金	3,751,002	4,071,806
自己株式	5,144	5,289
株主資本合計	6,343,357	6,664,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,067	65,868
退職給付に係る調整累計額	39,923	38,197
その他の包括利益累計額合計	139,991	104,065
純資産合計	6,483,349	6,768,082
負債純資産合計	11,381,979	13,036,603

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
売上高	6,965,896	8,329,684
売上原価	5,922,140	7,242,990
売上総利益	1,043,756	1,086,693
販売費及び一般管理費	677,112	648,603
営業利益	366,643	438,089
営業外収益		
受取利息	155	141
受取配当金	7,675	7,859
受取賃貸料	7,487	7,422
受取保険金	6,279	9,164
作業くず売却益	2,375	9,899
その他	6,055	7,446
営業外収益合計	30,029	41,933
営業外費用		
支払利息	9,176	8,020
支払保証料	5,202	3,242
その他	1,883	1,442
営業外費用合計	16,261	12,706
経常利益	380,411	467,317
特別利益		
固定資産売却益	1,195	499
特別利益合計	1,195	499
特別損失		
固定資産売却損	1,320	-
固定資産除却損	0	4,600
子会社株式売却損	1,536	-
特別損失合計	2,856	4,600
税金等調整前四半期純利益	378,750	463,217
法人税、住民税及び事業税	55,663	92,968
法人税等調整額	33,735	3,949
法人税等合計	89,399	96,917
四半期純利益	289,351	366,299
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	289,351	366,299

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	289,351	366,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,458	34,199
退職給付に係る調整額	9,682	1,726
その他の包括利益合計	13,775	35,925
四半期包括利益	275,576	330,374
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	275,576	330,374
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債権の会計処理については、手形交換日及び振込期日をもって決済処理をしております。なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債権が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

また、電子記録債権は連結貸借対照表の「受取手形・完成工事未収入金等」に含まれております。

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形	2,885千円	34,479千円
電子記録債権	21,593	29,482
支払手形	851	325

(四半期連結損益計算書関係)

売上高の季節的変動

前第3四半期連結累計期間(自2017年10月1日至2018年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年6月30日)

当社グループの事業内容は主に建設事業であり、売上高の概ね8割~9割を公共工事で占めております。当該売上高は、工事の完成引渡しが第2四半期連結会計期間に集中しているため、第2四半期連結会計期間に多く計上される季節的変動要因があります。

ただし、工事進行基準適用工事の増加に伴い、工事進行基準に基づく売上高が工事の進捗度に応じて分散して計上される割合が高まっているため、季節的変動は軽減される傾向にあり、また、工事進行基準適用工事の完成工事高は受注案件の工事環境の特性に影響を受けるため、冬季に施工が困難な大口の受注案件がある場合には、上記の季節的変動が生じない場合があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)
減価償却費	206,866千円	260,233千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自2017年10月1日至2018年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発 生日	配当の原資
2017年12月21日 定時株主総会	普通株式	37,918	50.0	2017年 9月30日	2017年 12月22日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発 生日	配当の原資
2018年12月21日 定時株主総会	普通株式	45,495	60.0	2018年 9月30日	2018年 12月25日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	建設事業	コンクリート 製品事業	不動産事業	売電事業	計			
売上高								
外部顧客への 売上高	5,526,234	1,237,482	87,657	78,091	6,929,466	36,430	-	6,965,896
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	110,403	1,243	-	111,647	869	112,516	-
計	5,526,234	1,347,886	88,901	78,091	7,041,113	37,299	112,516	6,965,896
セグメント利益 又は損失()	632,360	10,665	36,452	26,343	684,490	1,896	319,743	366,643

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業等を含んでおりますが、2018年6月1日付で食品事業を営んでおりましたさつま郷本舗株式会社の全株式を譲渡したため、譲渡日であります2018年6月1日以降につきましては、連結の範囲から除外しております。

2. セグメント利益調整額 319,743千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設事業	コンクリート 製品事業	不動産事業	売電事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	7,086,879	1,059,188	109,652	73,963	8,329,684	-	8,329,684
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	361,715	1,163	-	362,879	362,879	-
計	7,086,879	1,420,904	110,816	73,963	8,692,563	362,879	8,329,684
セグメント利益	606,028	30,595	53,861	26,677	717,163	279,073	438,089

- (注) 1. セグメント利益調整額 279,073千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。
3. 前連結会計年度において連結子会社であった、さつま郷本舗株式会社の全株式を譲渡しております。これに伴い、事業セグメントの「その他」の区分につきましては記載しておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益	381円57銭	483円11銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	289,351	366,299
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益(千円)	289,351	366,299
普通株式の期中平均株式数(千株)	758	758

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月9日

コーアツ工業株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 西元 浩文 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 上田 知範 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているコーアツ工業株式会社の2018年10月1日から2019年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2018年10月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、コーアツ工業株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。